

社会福祉法人 江東楓の会

発行日 令和7年12月24日 第59号

かえで



編 集 社会福祉法人江東楓の会
発 行 所 江東区東陽 4-8-10 202号室

編集責任者 理事長 伊藤 善彦
TEL 5617-3750 FAX 5617-3752

後援会と新たな事業について

社会福祉法人江東楓の会 副理事長 宮内 洋

気付けば慌ただしい師走を迎えておりますが、賛助会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。近頃は四季の移ろいも変化があり、今年の秋は秋らしい季節を感じる事がほとんどできずに冬を迎えたような気がします。

さて、すでにご存じの方も多いと思いますが、令和8年度より江東楓の会が指定管理者として江東区東砂福祉園を運営する事が決定いたしました。すでに準備室が始動しており、新年度に向けて採用活動や人事異動が行われています。引き続き各事業所とも利用者、ご家族の皆様が安心して利用できるサービス提供を心掛けていきたいと思います。

ここでとても残念なお報せとなります、去る6月30日、江東楓の会後援会橋本勇会長が急逝されました。江東楓の会後援会発足時から会長を務めていただいておりました。いつも利用者の方を気に掛け、野菜やお菓子、お花など気前よく配っていただいたことや、利用者家族向けにイベントを企画していただいたりしたことが昨日のことのように思い浮かびます。また、グループホームかえでが入る楓ビルを始め若竹作業所分室、グループホームわかしお寮（現在は諸事情により廃寮）などの物件のオーナーとしても特段の配慮を頂き、法人運営においても大いに支えていただきました。この場をお借りして今までの御礼を申し上げるとともにご冥福をお祈りいたします。なお、後任の後援会長につきましては株式会社関東電気サービス 代表取締役 斎藤清氏をお迎えし、体制新たに後援会活動がスタートしたところです。

年度末に向け慌ただしくなってきますが、今後とも、賛助会員の皆様並びに後援会のご支援を受けながら法人運営を滞りなく進めていけるように努めてまいりますので宜しくお願ひ致します。

後援会長就任にあたり

社会福祉法人江東楓の会 後援会長 斎藤 清

拝啓 皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、社会福祉法人江東楓の会後援会の会長を拝命致しました斎藤 清で御座います。

身に余る大役ではございますが、微力ながら江東楓の会の発展と地域の福祉向上の為に尽力する所存でございます。当法人はこれまで、多くの皆様のご協力のもと、地域に根ざした福祉サービスを提供してきたと伺っております。

今後とも、地域の皆様に期待される法人として、利用者の皆様に笑顔と安心をお届けできるように、後援会と致しましても役員の皆様、会員の皆様と力を合わせてより良き後援活動に努めて参ります。不慣れではございますが、今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

敬具

今号の記事の内容については、①最近のうれしい出来事、②事業所の取り組み、③おすすめしたいこと（モノ）のどちらか、または、それぞれに関わる内容となっております。

「利用者支援の小さな一歩」

若竹作業所 支援員 片桐 謙一

私は今年10月より、若竹作業所の本館から分室へ配置換えとなりました。分室に配置換えとなってから、分室利用者との関わりの中で特に嬉しく感じた出来事がありました。それは、ある利用者が洋服やギフトで使用するタグに紐を通していく作業を通じて、自信を取り戻していく姿を見られたことです。新しく入った手先の器用さが求められる細かい作業に対して、当初は苦手意識があるのか「自分には難しくてできないからやりません」「他の人に迷惑をかけたくないから」と消極的な発言が目立ち不安な様子が見られました。そこで、作業工程を細分化し、まずは紐を通すだけのところからはじめていただきました。すると徐々に自信がついてきて、紐を結ぶ工程までを安定したペースで行えるようになりました。ひとつずつの工程に一緒に取り組みながら、本人のペースに合わせて支援をしてきたことにより、達成感を得られたのだと思います。

特に、その利用者が自分の手で丁寧に紐を通し、形になった紐のタグを見つめながら「また次もやりたいです」と笑顔で話してくれた場面は、支援員として胸が熱くなる瞬間でした。これまででは、分室の利用者とは作業所の行事や活動などで交流の機会だけでしたが、新しい環境の中、日々の作業を通じて継続して関わることで、私自身も支援の意義を再認識することができました。利用者支援の小さな一歩が確かな成長につながった瞬間を今後も大切に見守っていきたいと思います。

「小さなことからコツコツと！」～最近の嬉しかった出来事～

高齢障害者通所施設さくら 支援員 濑尾 かおる

さくらの1日は、午前は作業を行い午後からはルーティンで行う筋肉トレーニングや体操などの運動の他、数ヶ月に1度、足浴をおこなったり、図書館に本やCDを借りに行くこともあります。時には年に1度、ちぎり絵や絵画の講師を招いての絵画教室、伝統芸能である琴や三味線を聴いたり実際に触れるなど、さまざまな余暇活動を通して、さくら内にいながらにして、さまざまな事や他の方と関わる機会が多くあります。

人は他者との関わりの中で毎日を過ごしています。その中で、さくらでは利用者自身が主体性を持って自分の気持ちを出せたり、行動に移すことが出来るよう日々の小さな会話や関わりを大事にしています。週末にはどう過ごしたのか、テレビ番組の美味しいものを見ながら、あ～コレ食べたいなあといった女子ネタや、単純に取るに足らない冗談で盛り上がるなどの日常ネタ以外にも、明日はこの作業をお願いしたいが良いか、絵を描くのが難しければ得意の詩にしてはどうか、これが無理ならこれなら楽しめるのでは、など各利用者の気持ちを聞き出しながらやりとりし、ご本人が選択し希望に添えるような形を取っています。そういういた取り組みの成果か、最近では、利用者の方からプラスアルファのひとことの話をしてくれることが増え、職員とのキャッチボールの回数も増えていると感じます。また、今日の作業はコレではなくあれをしたい、ビーズをやりたい、等々具体的に希望を言ってくれる機会が増えていると感じています。

このように、今までよりもさくらの利用者間で自主的に話しかけて交流が広がっている場面や、行動を起こす前に「～してもいい？」と相手に確認を取るなどの様子もみられるようになり、私は何だかとても嬉しくなり温かい気持ちになります。

これからも、更に利用者同士での関わりが増えたり、職員が利用者の方々の色々な気持ちを聞いたり知りたい、と思うと同時に、希望する声とそれに対して答えが出せるよう様々な選択肢の提案ができるように励まなければ、と思います。



「久しぶりの利用で感じる喜び」

江東区リバーハウス東砂 支援員 菅谷 栄二

リバーハウスでは、グループホームへ新規の利用者さんも入居され、再び賑やかになってまいりました。また、短期入所の方も、新規契約をされる方も安定して増えており、お陰様でほぼ毎日がフル稼働の状況となっております。利用予約をお申込みいただいても、受け入れができない事もあるかと思います。その際は申し訳ありませんがご了承ください。

短期入所の利用についてですが、新しい利用者さんだけでなく、月1回ほどのペースで利用していただいているリピーターの方も沢山いらっしゃいます。

短期入所事業に携わる中で、その利用者さんをいつも見ている訳ではない、という点があり、これまでそこ難しさを感じる事もありました。しかし最近では、以前の利用時には寂しくて泣いていた人が率先して手伝いを申し出てくれるようになったり、食事を嫌がっていた人がしっかりと食べられるようになったりと、「いつも見ている訳ではないからこそ感じやすい変化」、久しぶりに会う親戚がよく言う「おっ！見ない内にまた背伸びたなあ！」のような感覚を感じられるようになりました。それが喜びになっています。

短期入所を利用する方は、「用事があるから」「家族の休養」「将来に向けた練習」等が主な申請理由ですが、上記のような「日頃積み上げた変化の確認」ということも、短期入所を利用される際にはお力になれるかと思います。もしよろしければ、今後のご利用に向け、ご検討ください。

「敬語」

江東区亀戸福祉園 支援員 菅原 秀人

私が日々、大切にして心がけていることで、皆様におすすめしたいことがあります。それは、「敬語」です。

敬語は当たり前のように使っていましたが、より意識するようになったのは、就労移行支援の事業所で働くことになってからでした。通われていた利用者の方に「丁寧な言葉づかい」で、「面接の時にできるように」と伝えていましたが、自分がしっかりとした敬語を使っていたことに気付き、反省したことを覚えています。また、研修に行く時に、上司に言われたことで、「施設の顔として行く。施設の評価に関わる。身だしなみ、言葉遣いをしっかりと」と言われたことが自分の心に残っています。

それからは仕事の時、上司や同僚・後輩と話す時、利用者と関わる時は、必ず敬語で話すことを意識しています。敬語を使うことで、自分の姿勢がシャキッとする感じがしますし、利用者の皆さんにも丁寧な支援ができるようになったと思います。ただ、仲良くなつた同僚にも敬語で話すので笑われますし、後輩からは「距離を感じる」と言われますが、私は気にしていません。

「敬語」 それは、私の心や姿勢を正すものです。

ぜひ、皆さんも敬語を意識してみませんか。少し景色が変わるかもしれません。

カンジ 「ノスタルジーとテクノロジーでイイ感じ！！」

楓の会ヘルパーセンター サービス提供責任者 萩原 洋

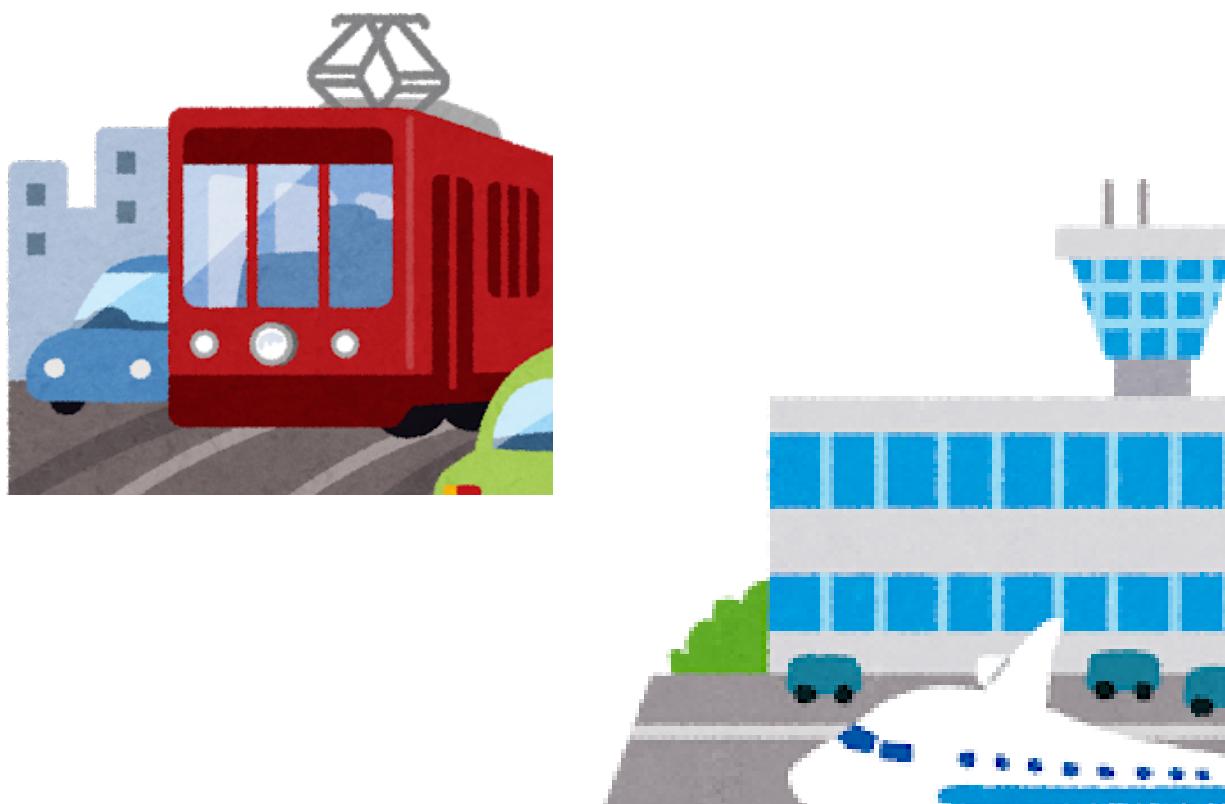
少し前まで「暑い」と言っていたのが嘘のように、急に寒くなって来ましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も残り少なくなってきましたが、楓の会ヘルパーセンターの利用者は、元気に過ごされています。

さて、そんな利用者もヘルパーと一緒に出かけすることを楽しみにされています。日々、利用者が喜んで出かけられる場所を模索しながら、支援に取り組んでいる当事業所として、おすすめしたいものがあります。

最近のおすすめとしては、羽田空港第3ターミナルに隣接する『HANEDA AIRPORT GARDEN』は如何でしょうか。こちらの施設には、たくさんのグルメや雑貨などの店舗が軒を連ねており、お気に入りの店を見つけるかもしれません。また、羽田つながりで『羽田イノベーションシティ』もおすすめです。こちらのイノベーションシティの展望デッキには、羽田空港を眺めながら浸かれる足湯があり、飛行機好きには堪らない絶好の場所です。さらにイノベーションシティエリア内を巡回する自動運転バス（現在、運転見合わせ中）も魅力です。

続いては、乗り物好きの方へのおすすめは、東京さくらトラム（都電荒川線）が良いかと思います。こちらは何と言っても、三ノ輪停留所近くの商店街の下町風情から東池袋四丁目周辺の都会の喧騒を感じられるところがおすすめです。

年末年始はお出かけする機会もあるかと思います。気が向いたらノスタルジックな風景や最新のテクノロジーを感じてみるのも良いかもしれませんね。



「みんなのやりたい！！」

江東区あすなろ作業所 支援員 三上 友芽

私はあすなろ作業所に異動して、早9か月になろうとしています。1年は、本当にあつという間ですね。異動して右も左も分からず、慌ただしい毎日ですが、そんな中でのうれしかった出来事を紹介しようと思います。

あすなろ作業所は、選挙をして決める利用者自治会があります。会長や副会長、書記などそれに役割があり、1年の任期を全うしてくれています。

先日、自治会の皆さんからハロウィンをやりたいとの声が挙がり、作業所内でハロウィンイベントを行いました。当日までポスターを描いたり、仮装グッズを作ったり、どんなことをして、どんな音楽をかけようかと話し合ったり準備を進めてきました。自治会の方全員で買い物にも出かけ、どうしたらみんなが楽しんでくれるかを考えました。

いざ当日。今回は仮装をしながら、サプライズで登場して、お菓子をプレゼントするという企画としました。まずは放送でハッピーハロウィーンの掛け声でスタート。お菓子をプレゼントする自治会の皆さん、受け取る皆さん、それぞれが嬉しそうな笑顔で素敵なサプライズとなりました。事務所にもサプライズ登場し、ハッピーハロウィーンの掛け声で職員たちのことでも盛り上げてくれました。

自治会の皆さんには、ハロウィンが終わってすぐ、クリスマスは何着ようか、クリスマスと忘年会もやろう！と話してくれており、そのお話を聞き、自治会の皆さんも楽しくできたのではないか、と担当の私としてはとっても嬉しく感じました。

1年の締めくくりである12月。あすなろ作業所は、まだまだハッピーなことがたくさんあります！



「おすすめしたい調理道具」

ワークセンターフラバ 支援員 佐藤 史仁

私事ですが、おすすめしたいモノを紹介したいと思います。いま流行のあの！‘せいろ’を最近購入しました。食材その物の水分と旨味を逃さず、何より油を使わない為、ふっくらと仕上がります。野菜は甘く、肉や魚はふんわりと、冷凍食品もレンジとは違った出来上がりになります。肉を塩こうじにつけると更に柔らかくしっとりとなることも知り、塩こうじが使えるという自分の機能が増えました。

使い方も簡単で、失敗がありません。更にせいろの最大の魅力は食卓の雰囲気が変わることです。せいろをそのまま食卓に出せば、蒸したての湯気と木の香りは食事の時間を特別にしてくれます。なんだかいい食卓になったと感じられるのがうれしいところです。洗い物も少なくなり、仕事大好き？な我々にとっては強い味方です。手間をかけなくても心が満たされる調理道具としておすすめしたいと思います。

最初は減量を目的に買ったつもりだったのですが、なにしろ美味しく出来てしまうので、残念ながら結果には…(;^_^A

「朝カツ」

第三あすなろ作業所 事務主任 梅澤 崇

朝カツとは、朝からトンカツを食べることではありません。朝早く起きて出勤前に、運動、趣味、自己啓発に取り組むことです。特に運動をすると頭と体が目覚め、心身ともにリフレッシュして、気持ち良く一日を過ごせるようになります。

最近の私のルーティンは、家の中で15分程度の有酸素運動から始まり、好きな音楽を聴きながらの軽いジョギング、入浴しながらの読書、まだ時間があればギターを弾いたりして過ごしています。この頃には、とてもお腹が空いているので、朝食を美味しく食べることができます。朝早く起きることは、健康であることの基本中の基本です。健康であってはじめて、良い仕事、良い支援が出来るのではないかでしょうか。とは言っても、なかなか自分の習慣を変えるのは一苦労ですが、ちょっと早く起きるだけで、いつもより余裕を持って朝を過ごせます。それだけでも大切なことだと思います。

私の尊敬する人物の一人、元プロ野球選手の松井秀喜さん。「努力できることが才能である」を体現したような人です。彼が星稜高校の野球部時代に、山下監督から送られた素敵な言葉があります。

心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる

朝の習慣を少し変えるだけでも、運命が変わるかもしれません。

「今年もみんなそろって年を越せます」

グループホームかえで 管理者 仲俣 圭

今年を振り返っても、世の中的にも、気候的にも、グループホーム的にも・・・いろいろな事がありました。利用者個々もまた、自身の健康の事、家族や家庭の事、仕事の事等、誰もが抱えるだろうライフステージの課題や自身の問題からは避けられません。そのような中でも、利用者全員無事に年を越せることが何より“うれしい事”です。

この利用者の平凡な毎日という“特別な一日”を積み重ねていくためには、それを支える支援員体制が欠かせません。しかしながら近年グループホームかえでの人員不足に対しては、十分な改善が進まない状況があります。もちろんその事で利用者に不利益になってしまい、そのため今年も施設長・管理者他、法人職員の皆さんにグループホームかえでのシフトにご協力をいただきました。皆それぞれに多忙の中、都合をつけていただいています。この様に江東楓の会という組織が、事業所の境を越えて困っている事業所に手を差し伸べられる組織であるということが、グループホームかえでで働いている者にとって、大きな“うれしい事”です。

一年365日が支援日であるグループホームという事業所では、“特別な日”という感覚はあまり持てず、むしろ平凡な毎日こそが“特別な一日”であり、その積み重ねの様に思えます。

編集後記

今号は年末号になります。新しい後援会長のご挨拶をいただきました。また、当法人として新たに始まる事業についてご案内する内容がありました。各事業所からは、いくつかのテーマに沿って、職員が何を思いながら職務に当たっているのか、普段だと伝えにくい景色のことなど、誌面を通して少しでもお届けできたら嬉しく思います。今年も一年関係する多くの皆様には大変お世話になりました。来年も引き続きよろしくお願ひいたします。

楓の会 令和6年度決算報告

楓の会の理事会・評議員会が開催され、令和6年度決算が承認されました。

貸借対照表

単位:千円

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	339,446	流動負債	250,681
基本財産	10,000	固定負債	59,441
その他の固定資産	161,481		
		負債の部合計	310,122
		純資産の部	金額
		基本金	20,500
		国庫補助金特別積立金	3,108
		その他の積立金	94,890
		次期繰越活動収支差額	82,307
		純資産の部合計	200,805
資産の部合計	510,927	負債及び純資産の部合計	510,927

資金収支計算書

事業活動計算書

単位:千円

事業活動収入	982,104
事業活動支出	940,373
差引事業活動収支差額	41,731
施設整備等収入	660
施設整備等支出	785
差引施設整備等収支差額	△ 125
その他の活動収入	24,216
その他の活動支出	39,405
差引その他の活動収支差額	△ 15,189
当期収支差額	26,417
前期末資金支払残高	95,672

単位:千円

サービス活動収益	972,021
サービス活動費用	942,122
差引サービス活動収支差額	29,899
サービス活動外収益	10,082
サービス活動外費用	6,956
差引サービス活動外収支差額	3,126
特別増減収益	660
特別増減費用	660
差引特別増減収支差額	0
当期活動収支差額	33,024
前期繰越活動収支差額	61,282

当期末資金支払残高	122,089	その他の積立金取崩額	22,000
		その他の積立金積立額	34,000
		次期繰越活動収支差額	82,306

※なお千円以下記載省略のため差異あり

令和1年度 後援会会員名簿

<賛助会員> (第58号からつづく)

会田 直子	遠藤 仁美	佐久間 勉	土橋 紗季	古川 久代
青木 知子	及川 忠	桜井 千鶴子	土橋 ゆう子	文屋 美佐子
明石 大介	及川 英子	佐々木 緑	土谷 佳代	星野 麻由美
明石 真理子	大須賀 宣恵	佐々木 珠乃	積田 礼子	星屋 真理子
赤津 正徳	大砂 しづ子	佐竹 敏子	寺本 風雅	本間 一洋
阿久津 清美	大野 誉仁	佐竹 良美	寺本 漣	松崎 泰典
阿部 勝	大野 真実	佐藤 えりか	東條 里香	松渕 秀美
阿部 道子	大和田 真衣	佐藤 奈津子	戸田 明宏	松村 清次
網野 開斗	岡倉 守男	佐藤 史仁	戸松 和恵	三上 友芽
新井 康介	奥野 太一	佐藤 充宏	富岡 七海	神子澤 尚子
新井 洋子	小倉 成子	佐野 花菜	富田 充紀	神子澤 奈月
荒木 智帆	小田 一枝	澤村 泉	内藤 捷子	水島 聖子
有馬 明美	尾戸 千尋	鹿間 勝	中川 健造	水谷 のぶ子
有馬 裕美	小野寺 千賀	茂野 陽子	長嶋 清美	水野 富一郎
安藤 修	陰山 香苗	茂野 勝信	中島 増夫	峯尾 豪
安藤 さゆり	笠原 正寛	品田 友香	永島 真由美	三村 孝二
安藤 純一	片上 友美	柴原 弘子	中島 美香	宮内 洋
五十嵐 恵	片桐 謙一	嶋田 知詠子	長瀬 亮一	宮岡 友美
猪狩 健治	片桐 湖生	島田 由美子	仲宗根 浩介	宗 久美子
池田 顕思郎	片野 清	下尾 剛	永田 奈津子	宗 菜摘
池山 遼一	加藤 リツ子	白井 千尋	中野 健一	村井 京子
伊佐 剛	金井 正夫	白石 さち子	中野 早央里	村上 龍
石井 潤一朗	金井 友香	神内 梓	仲俣 圭	村佐 弘美
石井 啓弘	神 貴之	新鋪 文彦	中村 恵一郎	百田 美帆
石井 梨乃	川口 晃洋	菅原 拓也	中畠 敏子	森 昇一
石川 信彦	川端 美喜雄	菅原 秀人	中村 昌子	森田 純一郎
石川 瞳	菊地 賢志	杉本 佑生	中村 夢夏	谷貝 正興
石田 強史	菊池 太郎	杉山 登久子	中山 晴貴	八木 友香
石田 知子	岸本 大輔	鈴木 香希	中山 光威	矢倉 大雅
石田 誠	北川 幸代	鈴木 正典	成田 由美子	ハッ繁 匡生
石村 哲郎	北原 正晴	鈴木 康之	成田 芳貴	山内 文雄
石山 智恵	草間 良子	瀬尾 かおる	新田 真由美	山岡 正広
和泉 佑佳	工藤 紀之	関 忠男	沼尾 麻美	山上 健太

磯田 洋	工藤 利佳	仙名 久美子	橋本 春美	山口 彩
磯本 光子	熊谷 優太郎	曾我部 彩花	橋本 博子	山口 益弘
伊藤 晃子	熊倉 歳之	蘓鉄 元気 クルニア	長谷 竜也	山崎 護
伊藤 和子	倉田 久美	鷹木 清光	長谷 雅子	山崎 結子
伊藤 隆行	栗原 聖斗	高月 のぞみ	長谷川 俊	山田 康弘
伊藤 菜緒	黒田 博幸	高梨 麻子	長谷川 貴男	山田 修司
伊藤 善彦	小桜 純	高橋 絵里	埴谷 孝行	山中 修司
伊藤 涼子	小島 輝久	高橋 久美子	濱谷 美幸	山本 伸一
乾 沙織	輿水 康弘	高橋 秀一郎	早川 久美子	山本 仁
井上 貴史	小玉 瞳子	高橋 淳子	原 隆典	山本 広人
井上 太郎	小林 恵美里	高橋 真理子	原 優子	山本 将大
今井 達也	小林 裕一	武田 俊彦	針ヶ谷 清子	横山 初子
今井 千夏	小原 直人	武田 昌和	春名 勇人	米川 直輝
岩崎 香織	駒崎 桂一	竹田 祐樹	半田 力也	若井 一郎
岩橋 稔	小宮 聰子	竹田 理恵	樋熊 和美	若松 浩子
上田 晃	齋藤 麻美	立花 音寧	平栗 聖也	若山 真人
上野 順子	齋藤 沙友里	辰巳 普	平野 哲也	脇田 歩
宇佐美 友恵	斎藤 誠	田中 信一郎	平山 史弥	脇田 芳子
臼杵 宏子	斎藤 優恵	近重 凜太朗	廣瀬 真衣	渡部 博信
宇田川 知幸	三枝 伸	千葉 裕子	福家 美奈子	亘 則光
梅内 千佳夫	榎 勝一	全 真和	藤野 翼	
梅澤 崇	坂詰 真里	全 将貴	古河 宏太郎	
浦部 恵	阪本 有宇	津田 裕太朗	古河 大輔	

(敬称略、順不同)

(なお、令和 7 年 12 月 5 日以降 賛助会員は次号につづく)

ご寄付

ご寄付を賜り誠にありがとうございました

- 株式会社関東電気サービス
代表取締役 斎藤 清様
- 匿名希望 1名
ご寄付いただいたものは、法人の事業に使わせて頂いております